

おりひめちゃんが行く！

# 交野戦国絵巻 五の巻

問い合わせ 社会教育課文化財係(TEL 893・8111)



## 私部城と光通寺

光通寺(上写真)は、交野で室町時代から栄華を誇っていた寺で、朝廷に茶葉を献上して強いつなかりを作り、石清水八幡宮と土地を争うほどの力をもっていました。ところが、戦国時代になると、私部城主となった安見右近が、寺を破壊してしまいました。それは、城の敷地に取り込むため、光通寺の立地や地形が、城の「出郭(出丸)」として使うのに適していたからでした。

出郭とは、城の外側の部分に突出して築かれる、敵を迎え撃つのに重要な陣地です。再来年の大河ドラマのタイトルに決まった「真田丸」も、大坂城の出郭です。慶長19年(1614年)、大坂冬の陣のときに、大坂城の弱点だった南東隅の備えとして築かれた真田丸は、大軍で攻め込んだ徳川軍を退ける役割を果たしました。現在の光通寺付近も、松永久秀に攻め込まれたときに、私部城の守りの要となったのでしよう。



## 現在の光通寺

現在の光通寺は、江戸時代になり、私部城が廃城となった後に、同じ場所に再建されたものです。寺の石垣には、石仏も再利用されており、夕日が差すころに、はっきり見ることが出来ます。



あまんの豆知識



## 戦国の世と茶の湯



戦国時代、茶の湯や茶器は武将の地位を表し、有名な茶器の中には、国と同等の価値をもつものもありました。織田信長を裏切り、私部城を攻めた松永久秀も、多数の名器を所有していました。織田軍は、久秀所有の「平蜘蛛」という茶釜を差し出せば、裏切りを許すと持ちかけましたが、久秀は応じず、茶釜とともに爆死したと伝えられています。

茶の湯が特に重要な文化であった時代、朝廷に茶葉を献上していた光通寺の権威は、とても大きかったことでしょう。



広報かたの編集と発行

No.747

交野市役所総務部情報課 〒576-8501 大阪府交野市私部1丁目1番1号  
TEL 072・892・0121 FAX 072・891・5046 テレホンサービス 072・892・1599

発行：2014年8月1日